

駒ヶ根市文化財

名称	山田の富士塚
種別	史跡
指定	市・史跡(平成 6. 12.26)
所在地	東伊那 伊那耕地
説明	<p>東伊那伊那耕地伊那森神社の十字路を 500m 程上った段丘上にあり、南側は東伊那遺跡の一つ丸山遺跡である。</p> <p>富士塚は山岳信仰の一つである富士(浅間[せんげん])信仰の本体富士山に登ることが困難なため、代わりに富士山の模型を造りそこに参拝するために造られたものである。</p> <p>この富士信仰は室町時代にさかのぼるとされるが、江戸時代が最盛期であった。この塚も江戸時代中頃に造られたものであろう。</p> <p>塚の規模は基底部の直径 21m、高さ 7m で中央部に鉢型の凹みがある。北側には塚の造成によって掘られた池があり、現在は農業用水池として利用されている。上伊那において最も大きなもので昭和 11 年(1936)に長野県史跡(現在解除)の指定を受けたこともある。</p> <p>以前には浅間(せんげん)社が祀ってあったが、明治 40 年代の神社統合により伊那森神社に合祀(ごうし)された。</p> <p>昔は旧 6 月 1 日を山開きと定め、信者たちが溜池で水垢離(みずごり)をしてから、お鉢へ登り「南無浅間大菩薩」を唱えながら、左廻りに3回まわって下山し解散したと伝えられる。信者は南向・中沢から富県に及び 547 人の信者を持っていたと明治 10 年(1877)代の記録に記されている。</p> <p>この外に市内では、赤穂北割馬場と町 2 区古城に富士塚が残されている。</p>



山田の富士塚 東側からの遠景